

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		15 05 06	中期総合計画主要施策番号		4-01	担当課	部・課	教育委員会事務局教学指導課	
事業名		魅力ある活動支援事業					内線	4389	
							E-mail	kyogaku@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	各高校において、校長が自らの考えと説明責任のもとで、自校の教育課題への対応や個性ある高校づくりの取組を行い、生徒が意欲的に学び、個性を伸ばし、希望する進路が実現できる活気ある学校、誇りを持てる学校、地域社会から信頼される学校づくりを進める。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]							
		魅力づくりにはさまざまな内容があり、学校によって重点が異なる。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]							
	事業内容	生徒ならびに保護者の希望、地域の要望等が異なる。							
[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]									
実施期間		H14 ~	根拠法令等		学校長が的確に課題を把握し、事業を実施の上、生徒保護者や地域に向けてHP等で周知することが重要である。				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	各高校において、生徒が意欲的に学び、個性を伸ばし、希望する進路が実現できる活気ある学校、誇りを持てる学校、地域社会から信頼される学校になる。		各校で実施した事業の自己評価や外部評価において効果があったとしている回答が9割以上となること。			各高校の有効性総合評価(自己評価)は、有効性が「きわめて高い」が72.7%、「高い」が26.8%、「どちらともいえない」が0.5%。 外部評価については、計画書と報告書をHPやPTA新聞に掲載。PTA総会や学校評議員連絡会での評価は好評である。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	35,600	32,040	28,836	国庫・県単 県単		
	決 算 額 (B)		千円	34,922	30,648		実施方法 直接		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	34,922	30,648	28,836	歳出節別		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.10	0.10	0.10	内訳等		
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	35,636	31,363	29,551	(単位: 千円)		
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	学習指導の充実を実施した学校		校	70	86	90	ライセンス取得、社会人講師の活用、学校案内作成、学校説明会、体験入学(実習体験)、進路講話等様々な学校独自の事業が行われた。		
	地域連携の取組を実施した学校		校	39	36	40			
	中学3年生の高校体験入学参加率		%	156.0	146.0	146.0			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	地域や生徒・保護者から各高校に求められる要望は多岐にわたり、それに応えるためのこの事業への各校の期待・要望は非常に強い。実施項目も年々増加している。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		少子化、高校再編といった状況の中で、各高校の「魅力づくり」はますます求められる。そのためには、学校長のリーダーシップの下、各高校が創意工夫して、地域から信頼される魅力ある学校づくりに取り組む必要がある。						